学校番号	3016

令和３年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	啓林館「地学基礎」　（啓林館）						
副教材等	セミナー地学基礎 2021（第一学習社）、ニューステージ地学図表（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地学は「地質（固体地球・地史）」「気象」「天文」「環境」の 4 つに分かれます。2 年生では、「気象」までを学びます。「天文」「環境」は 3 年生で扱います。

文系である皆さんは、詳細を詳しく掘り下げるよりも、教科書の内容を広く学んでください。また、暗記科目だと思われがちですが、図や表などの意味、計算式の成り立ちを理解し、自然現象をイメージしながら学んでください。そのためにも授業の解説をしっかり聞きましょう。

毎日の予習復習は不要です。ただし他教科とのバランスを考えつつ定期的に復習しましょう。

2　学習の到達目標

以下の点について、理解するとともに適切な文章や数式で説明することができる。また、必要な表や数式の読み書きができる。
（地球の大きさ・内部構造／プレートテクトニクスと火山・地震／堆積岩・地球表層の歴史／大気圏の構造／風と海流／日本の天気）

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	授業で取り扱う内容に、興味や関心を持ち、自ら積極的に取り組もうとする。 適切な授業態度で授業に臨み、指示内容を間違いなく理解している。	図（グラフを含む）や表から、その内容を読み取り、説明することができる。 数式を解くだけではなく、その意味を理解し、説明することができる。	種々の実習に対して、その目的を理解している。 適切に実習に取り組むことができる。 グループ活動を円滑に進めることができる。	基礎・基本的な教科書の内容を理解している。 既習事項の用語や概念を理解し、それらを使って文章を述べることができる。
評価方法	ノート 提出物 授業態度 積極的提出物	提出物 定期考査	提出物 定期考査 授業態度	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期中間	第1部　固体地球	第１章　地球	○		○		a:内容に興味を持てたか b:図や表・数式が理解できたか。 c:実習内容が確実に行えたか。 d:既習事項が身についたか。	定期考査 授業態度 ノート 提出物
前期期末		第２章　活動する地球			○			
	第2部　移り変わる地球	第１章　地球史の読み方	○			○		
後期中間		第２章　地球と生命の進化		○				
	第3部　大気と海洋	第１章　大気の構造	○	○				
学年末		第２章　太陽放射と大気・海水の運動		○				
		第３章　日本の天気			○			

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。